

大和ブロック 株式会社

ものづくり技術

景観配慮型の積ブロックを製造、量産化を実現 防災・減災の観点からも公共工事に貢献

事業内容 県内トップのブロックメーカー 生産能力と大口受注に強み

1961年(昭和36年)設立、護岸用のコンクリート積みブロック製造で半世紀余りの業歴を有する。

主な自社製品は、スクラム式間知ブロック、和歌山県標準型ブロック、張ブロック各種であり、河川の護岸に使われる他に、高速道路の法止工やため池の堤体他にも使われている。自社製品の他にも、大手土木関連資材メーカーからのOEM生産も行っている。

製品の大半は、公共工事向けとして大手・中堅ゼネコンに納入されており、営業エリアは大阪府、和歌山県全域を

カバーしている。

同社の和歌山工場は広大な敷地と在庫を有しており、他社では対応の難しい大口の受注にも対応できることが強みとなっている。生産能力の面では、和歌山県下のブロック製造業者の中ではトップに位置し、トップ企業として景観配慮型の積ブロック製造を始めるなど、品質・技術面でも県内企業を牽引する立場にある。

補助事業 国土交通省のガイドラインに適合する 景観配慮型の積ブロックを製造

1998年(平成10年)に国土交通省より「美しい山河を守る災害復旧基本方針(ガイドライン)」が発表された。その後、2014年(平成26年)3月にはガイドラインが改正され、河川護岸工事を行う際の指針として、河川景観の保全に配慮した災害復旧工事を進めていくことが明記された。

具体的には、①護岸が周辺の景観に対して明るすぎず、周辺から目立つ存在になっていないこと、②護岸が周辺の景観に馴染む色であること、③護岸の表面に凹凸や陰影やざらざらした質感を有していること、これら3項が主な条件となっている。

しかしながら、従来の同社の製品は滑面タイプの積ブロックであり、国土交通省が示す基準より明るく、テクスチャー(素材の持つ質感)の基準も満たしていなかった。和歌山県内に上記要件を満たすブロックの製造事業者がなければ、和歌山県内の護岸工事であっても他府県のブロックを

使わざるを得ない。これでは和歌山県が進めている「県産品使用」という方針にそぐわず、同社としても大きな商機を逃すことになる。

そこで、今回の補助事業では、特注のブロック型枠を導入し、景観配慮型積ブロックの製造を行った。



▲大和ブロック(株)和歌山工場

大和ブロック 株式会社

代表取締役社長 嶋谷 浩男
〒649-6275 和歌山市吐前918-2
TEL: 073-477-1111 FAX: 073-477-1133
URL: http://www.daiwa-block.co.jp/

(業種)護岸用コンクリートブロック製造・販売
(設立)1961年9月
(資本金)10,000千円
(従業員)20人

成果

景観配慮型積ブロックの生産体制を構築 提案の幅も広がる

今回の補助事業により、特注ブロック型枠を導入したことで、景観配慮型積ブロックを1日あたり約280個製造できる体制を整えることができた。複数の工程を経て製造される景観配慮型積ブロックは同社オリジナルであるため、他社に真似できない製品に仕上がっている。すでに和歌山市内の七瀬川や九度山町の丹生川の護岸に同社の景観配慮型積ブロックが使用されており、早速、販売面で成果が上がっている。

また、従来の滑面型ブロックのみならず、景観に配慮した積ブロックを製品ラインアップに加えることができるようになり、災害発生時の河川復旧工事等での需要に応えることができるようになった。営業時の提案に幅が出てきており、新規顧客の獲得に期待が持てる状況にある。

和歌山県内の公共工事予算が伸び悩むなかで、販売個数を増やしていくことは容易ではない。今後は、新たな販路の構築に注力していく予定である。



▲今回導入した型枠

今後の展開

景観配慮型ブロックの認知度をUP 防災・減災の観点からも貢献

和歌山県内では、平成27年度の施工分に限り、従来の滑面型ブロックによる施工も認められていたが、平成28年度施工分からは景観に配慮したブロックによる施工が必要となる。景観に配慮したブロックが完全義務化される前に量産体制を同社が構築できたことは、同業他社に対する大きなアドバンテージになっている。今後は、和歌山県内だけでなく、他府県企業にPRを行っていくことにより、自社の景観配慮型積ブロックの認知度を高め、販売につなげていく考えである。

全国の公共工事の動向としては、国や県の予算が限られていることなどから災害復旧にかかる工事に予算が集中している。ただ、近年は全国各地で予測できない集中豪雨に見舞われ、河川が氾濫するなどの被害が出ている。災害復旧だけでなく、防災・減災を意識した公共工事を進めていくことも必要であり、同社としては防災・減災の観点から県内をはじめ周辺各府県の公共工事に貢献していきたいと考えている。



▲施工事例(和歌山県九度山町)



▲施工事例(和歌山県九度山町)